

北小島

北小島は、無量光院庭園の島の中でもっとも小さい島です。かつてこの小さな島と、阿弥陀堂が建っていた大きな島には橋がかけられていました。北小島は、京都府にある平等院鳳凰堂の小島と同様に、阿弥陀堂への通路となっていたと考えられます。

庭や池、島とともに無量光院は、極楽浄土をこの世に再現するという目的で設計されたものです。16世紀に無量光院は火災で消失し、2010年代になって修復再生事業が始まるまで水田化していました。修復・再生の努力により池にある3つの島は元の形状に修復され、無量光院は12世紀の浄土庭園の傑作のひとつとして蘇りました。